

# 判決どうなる 問われる裁判所の異例対応

元朝日新聞記者の植村隆さんが慰安婦報道は「捏造ではない」と訴えた東京訴訟

## 報告集会

【弁護団報告】  
「裁判の公正」妨げる異例の対応  
なぜ忌避なのか



青木理氏 中島岳志氏

【スピーカー】  
青木理氏（ジャーナリスト）× 中島岳志氏（東京工業大学教授）

『元朝日新聞記者の植村隆さんが西岡力氏と文藝春秋社を訴えた「植村東京訴訟」の原告弁護団は2月22日、「裁判の公正が妨げられている」として原克也裁判長ら東京地裁の裁判官3人の忌避を申し立てました。すでに結審していたのに、3月20日に予定されていた判決の直前になって突然、裁判所が弁論を再開し、新たな証拠の提出を求めたためです。これまで4年間の法廷で争点になっていなかった証拠を、裁判所が被告側に要請までして提出させる異例の展開。無理やり植村さんの訴えをしりぞけた札幌地裁の不当判決と同じ論理を、東京地裁もなぞるのではないかと、との懸念さえ出ています。忌避の理由と背景について、弁護団に語っていただきます。

また、植村バッシングに対して著書『抵抗の拠点から』でいち早く警鐘をならしたジャーナリストの青木理さんと、『週刊金曜日』編集委員でもある中島岳志さんが、植村裁判がかちとってきた成果と今後の展望を語り合います。映像ジャーナリストの西嶋真司さんによる植村さんの闘いのドキュメンタリー「標的」抜粋編も上映します。

◆場所：日比谷図書文化館日比谷コンベンションホール（大ホール）

東京メトロ丸の内線・日比谷線「霞ヶ関駅」B2出口より徒歩約3分  
都営地下鉄三田線「内幸町駅」A7出口より徒歩約3分  
東京メトロ千代田線「霞ヶ関駅」C4出口より徒歩約3分

◆日時：2019年  
3月20日（水）午後2時～4時40分  
（開場午後1時30分）

参加費：500円

- ◆主催：植村東京訴訟支援チーム
- ◆共催：新聞労連／メテア総合研究所／日本ジャーナリスト会議（JCJ）
- ◆問い合わせ先：日本ジャーナリスト会議 電話03・3291・6475（月・水・金）



植村隆氏

裁判支援やイベント設営のためのカンパを募っております

「植村裁判を支える市民の会」ゆうちょ銀行の振替口座 ゆうちょから 02700 - 3 - 70778  
他銀行から 店番号908 店名九〇八(キューゼロハチ) 預金種目 普通預金 口座番号4963945